公益財団法人 日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

探鳥会スタッフ通信

2020 年
11 月号

「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目 次

◆バリアフリー探鳥会に使用できる機器の工夫について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
◆安西さんのオンライン野鳥講座を開催しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
◆普及室からのお知らせ
・1 月開催の「初心者向けバードウォッチング」実施概要をお送りください・・・・・・・・・3
・リスクマネジメント研修のお知らせ（12 月開催分）・・・・・・・・・・・・・・4
・バードウォッチングに出かける際の鳥インフルエンザへの配慮のお願い
◆探鳥会開催状況・・・・・・・・・・・・・5（2020 年９月分）
◆探鳥会保険集計結果・・・・・・・・・・・7（2020 年９月分）
◆今月の購読者数・・・・・・・・・・・・・・9
◆探鳥会スタッフ通信の無料配信について・10
◆編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・10

◆バリアフリー探鳥会に使用できる機器の工夫について

探鳥会スタッフ通信 2020 年９月号に「バリアフリー探鳥会のための研修会を開催しました」という記事を掲載したところ、記事中の「カメラと iPad をつなげて iPad 上で観察する」という観察方法について、読者の方から詳細が知りたいとご連絡をいただきました。望遠鏡を覗くのは通常 1 人しかできませんが、代わりに iPad を見るようにすれば、同時に複数の方が見られます。そのため、普段の探鳥会でも有用ではないかと考えられたそうです。この方法は、コロナ禍での接触感染を防ぐ手段としても活用できるかと思いますので、ここで詳しくご紹介します。（普及室）

■背景：姿勢を変えるのが難しい方に向けて

昨年、バリアフリー探鳥会を開催するため、身体に障害を持つ方とその家族数組とともに下見を行いました。本番は、残念ながらコロナ禍の影響で中止になってしまいましたが、いくつかのヒントを得ることができました。

参加者の中に、双眼鏡を持てない、姿勢を変えられないという身体に重度の障害を持つ方がいました。このような方は、既存の望遠鏡や三脚を使うことがとても困難です。もちろん、大き目の三脚を思い切り広げ、望遠鏡の軸（＝三脚との取り付け分）から、接眼レンズまでの距離が長い大型の望遠鏡を使えば、何とか対応できます。ただし、観察する場所が広く、一般の方に迷惑にならない場所ということが前提です。

その後、反省会の中で、iPad に野鳥の姿を映し出せないかというアイディアが出てきました。とりあえず試行してみようということになり、事務所の機材で試行しました。

■カメラと iPad をつなげる

カメラと iPad を無線でつなげるシステムがあるかどうかの確認とアプリのインストールを行いました。Nikon 社の超望遠コンデジは、接続に手間がかかり、観察会当日上手くいかない可能性が高いため、途中で断念。SONY 社のビデオカメラは、操作に重点を置いているためか風景を映すスペースが狭く、ズームや明るさを調整する範囲が広く、観察には不向きでした。

財団事務局にあるものの中では、パナソニック社の LUMIX FZ85 と iPad 用アプリ「Panasonic Image App」の組み合わせがベターでした。接続も簡単で、映像の画面もそれなりに広くきれいに見ることができます。

▲LUMIX FZ85 と iPad 用アプリ
「Panasonic Image App」の組み合わせ

■三脚への取り付け

三脚への取り付けは、バランスプレート（3,000 円くらい）と iPad の三脚取り付けアダプター（4,000 円くらい）を購入し、カメラと iPad を並べて取り付けています。iPad を外して、手元で使うこともできるので、使い心地はまあまあという感じです。ただし、まだ本番には使用していませんので、課題は出てくるかと思います。

■この他にも

この他にも、コーワ等の望遠鏡にアダプターをつけて iPhone を取り付ける「スマスコ」も使えそうです。ただし、これもスマホの小さな画面では、覗きこめない方には、やや不向きな感じはします。スマスコの画面を iPad と共有できるアプリがあるとの情報があり、これが実現できると面白そうです。ややタイムラグが出るのと、画質に課題はありますが、スマスコと iPad を ZOOM でつなぐ方法もあります。この場合、複数台の iPad を利用できるので、1 台の望遠鏡で複数の方に観察してもらえるようになります。

■最後に

これまでは、双眼鏡を使えるのが当たり前、望遠鏡を覗けるのが当たり前と思っていました。しかし、事故にあったり、病気になったりすれば、明日からは当たり前でなくなってしまうこともあるわけです。少し考え方を変えることで、違った視点に立つことができます。機材の進化も進んでいます。たくさんの方がいろいろ工夫をし、共有することで、バリアフリーな探鳥会が実現できるような気がします。私もいろいろ試行した結果を報告しますので、皆様も情報をお寄せください。

（普及室／富岡辰先）

最近の興味は「野鳥の声の録音がなぜ普及しないのか？」野鳥の声を録音することはとても楽しいのに、なぜ広がっていかないのか。この問題を打破できないか、いろいろ試行中です。

◆安西さんのオンライン野鳥講座を開催しました

探鳥会リーダーの皆様に、秋の探鳥会で役立つ野鳥の知識を紹介する講座として、ウェブ会議システム「Zoom」を利用し、オンラインにて開催しました。当日の様子や参加者からの感想をご紹介します。

■日時：2020 年 10 月 18 日（日）
14：00 ～ 15：00

■開催場所：日本野鳥の会西五反田事務所より配信しました。

■参加者：19 支部 30 名
（釧路支部 1 名、もりおか 2 名、宮城県支部 2 名、栃木県支部 1 名、埼玉 1 名、千葉県 1 名、東京 1 名、神奈川支部 1 名、石川 1 名、沼津支部 1 名、愛知県支部 3 名（他メンバー数名随時ご参加）、大阪支部 4 名、鳥取県支部 1 名、岡山県支部 1 名、徳島県支部 1 名、筑後支部 2、宮崎県支部 4 名、長崎県支部 1 名、鹿児島 1 名）
他、財団職員 1 名（根室市春国岱原生野鳥公園）

■内容

1　はじめに（14：05～）
2　秋の自然
3　夏鳥の南下（14：15～）
　-1　夏鳥とは？南下とは？
　-2　野外識別の基礎
　-3　識別が難しい種の例　その1ヒタキ類
　-4　識別が難しい種の例　その2カッコウの仲間
4　冬鳥の飛来（14：40～）
5　まとめ（14：45～）
6　質問（14：50～）

▲オンライン講座中の安西さん

■当日の様子

「1 はじめに」では、『フィールドガイド日本の野鳥　増補改訂新版』の P3『はじめに』、P12『種と亜種』、P18『野鳥の見分け方』などを示して、鳥とは？日本野鳥の会とは？　野外識別とは？など、そもそものお話を確認しました。

「2 秋の自然」では、色づく木の実と鳥類による種子散布を解説する事例が紹介されました（実際に実を指で摘まんで、小鳥が飲み込みやすいサイズや形であること、糞で排出されるはずの種子を確認）。

「3 夏鳥の南下」では、春と秋の渡りの違いやその解説例が紹介されました。例えば・・・

・春の渡りが短期間に集中するのは繁殖という大仕事を控えているためで、サラリーマンの朝の通勤ラッシュに例えられる。

・繁殖後となる秋の渡りはサラリーマンの仕事帰りがまちまちであるように、期間に幅がある。また、若鳥が加わるので数は春よりずっと多いものの、さえずらない、地味な個体が多いなどから、春ほど気づかない。迷鳥は秋、若い鳥に多い・・・などなど。

「識別が難しい種」については、キビタキ（若鳥）やツツドリなどの剥製を示し、見え方の違いや個体差にも鑑み、種の識別点が確認できない場合は無理に識別しないほうがよい、その場でわからない時は、わかり方、魅力や楽しみ方を解説したほうがよいなどの話がありました。

■参加者からの感想

終了後のアンケートでいただいた感想をご紹介します。

「講義時間が短く感じ、濃密な内容だったと思いました」

「今後もコロナ禍の中、こういったミーティングができるのは有益だと思います」

■まとめと今後に向けて

探鳥会では、多くの野鳥を見たい、野鳥を見分けられるようになりたいなどのニーズに配慮しなくてはなりませんが、種を特定できないような個体もいるし、種の識別点が確認できないような出会いもあることがわかりました。

難しい識別に気をとられて、参加者が楽しんでいるか？　マナーや安全管理、周囲の目や環境は大丈夫か？などがおろそかにならないように・・・ということが、一つの結論だったように思います。

また、オンラインで画面切替えの際、講師が映らないとか、音声が聞こえない時間もあったようです。当日参加された方にはお詫び申し上げるとともに、反省を踏まえ動作検証を行い、今後の開催に活かしたいと思います。

（普及室／十倉久枝）

◆普及室からのお知らせ

■1 月開催の「初心者向けバードウォッチング」実施概要をお送りください■

1 月開催の「初心者向けバードウォッチング」実施概要をお送りください。

1 月開催の「初心者向けバードウォッチング」の締め切りは、11 月末日となります。開催を予定される支部の皆さまは、実施概要をお送りください。（詳細は 10/15 付で各支部事務局に送付した資料をご覧下さい。）

なお 12 月は、5 支部により 6 回開催されます。

■リスクマネジメント研修のお知らせ（12 月開催分）■

普及室では、昨年度より各地で探鳥会のリスクマネジメント研修を実施してきましたが、今年度 7 月よりオンラインで毎月 1 回開講しています。

リスクマネジメントは、これからの時代の野外活動では必須の研修です。その考え方を知っているか知っていないかで、探鳥会の安全性が変わってきます。

特に初心者向けバードウォッチングに力を入れていきたい支部の皆様、コロナで活動ができないこの機会に、リスクマネジメントの浸透を図っていきたいと考えていらっしゃる支部の皆様、ぜひ参加ください。

以下の要項をお読みいただき、ご参加いただける方は 12/6 までにお申込みください。

【タイトル】
探鳥会のリスクマネジメント研修
（基礎編／実践編）
【実 施 日】2020 年 12 月 13 日（日）
14 時～16 時 30 分(締め切り 12 月６日)
【内　　容】
前半の基礎編では、リスクマネジメントの基本的な考え方についてわかりやすく解説し、どのような法的責任がかかってくるのかについて解説していきます。

後半の実践編では、具体的に支部の中でどのようなことをすればよいのかについてお話していきます。

【配 布 物】テキスト 1 冊（PDF 版）
（当会の顧問弁護士に監修していただきました。）
【定　　員】定員 10 名
【参 加 費】無料
【申し込み】件名に「リスクマネジメント研修申し込み」と明記の上、①お名前②支部名③メールアドレスを明記の上、12/6（日）までに tancho-staff@wbsj.org あてにお送りください。
【受講環境】
①受講には、インターネットに接続する環境が必要です。
②お使いのパソコンに、スピーカー、マイク、web カメラの設備が備わっているかご確認ください。
③スマホでも受講できます。wifi 環境での受信をお勧めします。
④zoom というサービスを使用する予定です。

【進　　行】
１４：００　オープニング
１４：１０　リスクマネジメント（基礎編）
１５：００　質疑応答
１５：１０　リスクマネジメント（実践編）
１６：１５　質疑応答
１６：３０　終了

■バードウォッチングに出かける際の鳥インフルエンザへの配慮のお願い■

この冬も、国内で高病原性鳥インフルエンザ（以下、鳥インフルエンザ）の野鳥での確認例が報告されるようになりました。水鳥が集まる場所でバードウォッチングをする際の配慮事項を以下のページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

被害の拡大が抑えられるよう、バードウォッチャーができることに協力していきましょう。

・バードウォッチングに出かける際の鳥インフルエンザへの配慮のお願い
（日本野鳥の会普及室普及教育グループブログ）
http://wildbirdfkg.seesaa.net/article/torifuru2020.html

※国内の発生情報や配慮事項などを以下のページにまとめています。あわせてご確認ください。

・野鳥と高病原性鳥インフルエンザ(日本野鳥の会HP)
https://www.wbsj.org/activity/conservation/infection/influenza/

◆探鳥会開催状況（2020 年９月分）

2020 年９月は 42 支部が計 119 回の探鳥会を開催しました。昨年同月と比較して、開催支部数は３割減、開催探鳥会数は５割減でした。（開催回数には中止の回数は含みません。）

表１．９月の探鳥会開催状況（探鳥会保険の申請結果から作成）

支部	探鳥会開催回数（2019年9月）	探鳥会開催回数（2020年9月）
オホーツク支部	2	0
根室支部	1	−
釧路支部	−	1
十勝支部	−	−
旭川支部	0	0
滝川支部	1	1
道北支部	0	0
江別支部	−	−
札幌支部	3	3
小樽支部	3	2
苫小牧支部	1	1
室蘭支部	2	0
道南桧山	2	1
青森県支部	−	−
弘前支部	3	2
秋田県支部	5	5
山形県支部	3	3
宮古支部	−	−
もりおか	1	0
北上支部	−	0
宮城県支部	3	0
ふくしま	2	1
郡山支部	3	2
白河支部	1	1
会津支部	−	−
奥会津連合	−	−
いわき支部	1	1
福島県相双支部	−	−
南相馬	−	0
茨城県	6	6
栃木県支部	6	−
群馬	10	6
吾妻	1	1
埼玉	4	0
千葉県	8	5
東京	14	0
奥多摩支部	8	0
神奈川支部	12	5
新潟県	2	2
佐渡支部	−	−

富山	2	2
石川	2	1
福井県	4	3
長野支部	2	1
軽井沢支部	1	0
諏訪支部	1	0
木曽支部	-	-
伊那谷支部	0	0
甲府支部	1	1
富士山麓支部	1	-
東富士	-	-
沼津支部	1	2
南富士支部	3	0
南伊豆	1	1
静岡支部	1	-
遠江	3	1
愛知県支部	9	6
岐阜	-	-
三重	7	0
奈良支部	4	0
和歌山県支部	0	0
滋賀	6	5
京都支部	7	3
大阪支部	22	0
ひょうご	5	3
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	2	3
島根県支部	1	1
岡山県支部	3	4
広島県支部	5	0
山口県支部	2	2
香川県支部	5	5
徳島県支部	6	6
高知支部	-	-
愛媛	5	4
北九州支部	4	0
福岡支部	4	3
筑豊支部	6	8
筑後支部	2	3
佐賀県支部	2	2
長崎県支部	-	-
熊本県支部	3	-
大分県支部	1	0
宮崎県支部	2	0
鹿児島	2	0
やんばる支部	-	-
西表支部	0	-
報告支部数合計	69	66
開催支部数合計	64	42
開催回数合計	244	119

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

（普及室）

◆探鳥会保険集計結果（2020 年 9 月分）

９月は 66 支部からご報告をいただき、計 156 回の探鳥会が開催され、のべ 2,137 人が参加されました。（開催回数には中止の回数も含まれます。参加者数には中止の際の当日対応も含まれます。）

表 2.　９月の探鳥会保険集計結果（2020 年 10 月 15 日現在）

支部	開催回数（回）	参加者数		スタッフ数（人）	合計人数（人）
		会員（人）	一般（人）		
オホーツク支部	0	0	0	0	0
根室支部	–	–	–	–	–
釧路支部	1	9	20	3	32
十勝支部	–	–	–	–	–
旭川支部	0	0	0	0	0
滝川支部	1	9	0	2	11
道北支部	0	0	0	0	0
江別支部	–	–	–	–	–
札幌支部	3	71	2	20	93
小樽支部	2	2	2	2	6
苫小牧支部	1	1	0	1	2
室蘭支部	1	0	0	1	1
道南桧山	1	8	3	4	15
青森県支部	–	–	–	–	–
弘前支部	2	19	0	2	21
秋田県支部	5	57	1	7	65
山形県支部	3	23	0	4	27
宮古支部	–	–	–	–	–
もりおか	0	0	0	0	0
北上支部	0	0	0	0	0
宮城県支部	4	0	0	8	8
ふくしま	1	21	0	2	23
郡山支部	2	25	4	4	33
白河支部	1	2	0	6	8
会津支部	–	–	–	–	–
奥会津連合	–	–	–	–	–
いわき支部	1	17	5	1	23
福島県相双支部	–	–	–	–	–
南相馬	0	0	0	0	0
茨城県	6	33	44	9	86
栃木県支部	–	–	–	–	–
群馬	10	74	13	30	117
吾妻	1	11	14	3	28
埼玉	0	0	0	0	0
千葉県	5	59	18	21	98
東京	1	0	0	27	27
奥多摩支部	2	0	0	22	22
神奈川支部	5	48	10	13	71
新潟県	2	31	19	6	56
佐渡支部	–	–	–	–	–

富山	2	33	16	5	54
石川	1	7	2	3	12
福井県	3	4	11	6	21
長野支部	2	9	4	3	16
軽井沢支部	0	0	0	0	0
諏訪支部	0	0	0	0	0
木曽支部	−	−	−	−	−
伊那谷支部	0	0	0	0	0
甲府支部	1	9	0	2	11
富士山麓支部	−	−	−	−	−
東富士	−	−	−	−	−
沼津支部	2	27	1	4	32
南富士支部	1	0	0	1	1
南伊豆	1	7	0	1	8
静岡支部	−	−	−	−	−
遠江	1	8	0	4	12
愛知県支部	6	77	5	16	98
岐阜	−	−	−	−	−
三重	0	0	0	0	0
奈良支部	0	0	0	0	0
和歌山県支部	0	0	0	0	0
滋賀	5	27	48	10	85
京都支部	3	28	0	8	36
大阪支部	15	0	0	60	60
ひょうご	3	41	32	25	98
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	3	20	2	3	25
島根県支部	1	9	1	1	11
岡山県支部	4	70	30	12	112
広島県支部	0	0	0	0	0
山口県支部	2	12	11	2	25
香川県支部	5	88	18	6	112
徳島県支部	6	116	33	6	155
高知支部	−	−	−	−	−
愛媛	4	41	29	7	77
北九州支部	0	0	0	0	0
福岡支部	6	25	2	24	51
筑豊支部	8	37	15	8	60
筑後支部	3	23	2	6	31
佐賀県支部	2	28	13	3	44
長崎県支部	−	−	−	−	−
熊本県支部	−	−	−	−	−
大分県支部	2	0	0	8	8
宮崎県支部	2	0	0	7	7
鹿児島	1	0	0	2	2
やんばる支部	−	−	−	−	−
西表支部	−	−	−	−	−
全国	156	1,266	430	441	2,137

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

（普及室）

◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信 11 月号の電子メール版の購読者数は、先月から 1 名増えて 880 名です。各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表 3.　探鳥会スタッフ通信 11 月号電子メール版の購読者数（2020 年 11 月 19 日現在）

支部	購読者数
オホーツク支部	6
根室支部	2
釧路支部	3
十勝支部	1
旭川支部	3
滝川支部	1
道北支部	1
江別支部	0
札幌支部	6
小樽支部	3
苫小牧支部	2
室蘭支部	4
道南桧山	2
青森県支部	1
弘前支部	5
秋田県支部	4
山形県支部	4
宮古支部	1
もりおか	4
北上支部	2
宮城県支部	39
ふくしま	6
郡山支部	1
白河支部	2
会津支部	2
奥会津連合	0
いわき支部	1
福島県相双支部	0
南相馬	4
茨城県	22
栃木県支部	58
群馬	24
吾妻	1
埼玉	38
千葉県	24
東京	69
奥多摩支部	49
神奈川支部	28
新潟県	2
佐渡支部	1
富山	3
石川	30
福井県	12
長野支部	3

支部	購読者数
軽井沢支部	1
諏訪	7
木曽支部	1
伊那谷支部	1
甲府支部	4
富士山麓支部	0
東富士	0
沼津支部	3
南富士支部	3
南伊豆	2
静岡支部	2
遠江	11
愛知県支部	45
岐阜	6
三重	20
奈良支部	6
和歌山県支部	5
滋賀	20
京都支部	33
大阪支部	29
ひょうご	14
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	10
島根県支部	13
岡山県支部	28
広島県支部	9
山口県支部	16
香川県支部	7
徳島県支部	5
高知支部	1
愛媛	16
北九州	11
福岡支部	12
筑豊支部	23
筑後支部	6
佐賀県支部	5
長崎県支部	4
熊本県支部	13
大分県支部	4
宮崎県支部	5
鹿児島	4
やんばる支部	0
西表支部	1
合計	880

（普及室）

◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのアドレス）を記入し、tancho-staff@wbsj.org へお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.org までお知らせください。

★編集後記

西五反田事務所の周囲は大きなマンションに取り囲まれておりますが、先日事務所ビルの管理担当者より、最近意外な動物が現れたとの情報を聞きつけました。

その正体はなんと！タヌキ。ん？アライグマではなく？？見せて貰った携帯写真には確かに立派なタヌキが映っておりました。どこからやって来たのでしょうか…

（普及室／十倉 久枝）

日本野鳥の会

探鳥会スタッフ通信 第92号

◆発行

（公財）日本野鳥の会　2020年11月19日

◆担当

普及室　普及教育グループ

〒141-0031

東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル

TEL：03-5436-2622

FAX：03-5436-2635

E-mail：tancho-staff@wbsj.org